

東日本大震災復興支援物産展 2014 と被災地社協報告会実施要綱

1. 趣旨

東日本大震災から３年半が過ぎました。しかし、被災地の復興は、課題も多く、まだまだこれからという状況です。復興庁の発表では、今なお、２４万６千人の方が避難生活を余儀なくされているという状況です。（平成２６年８月２９日発表）

被災地の復興支援については、穴粟市社協（以下「本会」）として、いろんな形で支援してきましたが、３年半たった今でも多くの課題が山積しており、息の長い支援が必要と考えています。

そこで、今回は、被災地の宮城県石巻市社協と連携し、いちのみやふるさとまつりを利用した宮城県の物産展を昨年に引き続き行います。

あわせて、石巻市社協から職員を派遣いただき、「あの震災から３年半を経過した今」の状況について、同市社協職員のレポートを聴きながら役職員や市民参加の報告会を開催し、被災地の復興の歩みについて研修します。

2. 主催 社会福祉法人穴粟市社会福祉協議会

3. 協力 社会福祉法人石巻市社会福祉協議会

4. 後援 穴粟市

5. 被災地社協報告会

日 時 平成２６年１１月２日（日）午後７時から午後９時まで

会 場 一宮保健福祉センター ホール（又は穴粟防災センター５階）

参加者 本会理事・職員・一般市民ほか

6. 被災地支援物産展

日 時 平成２６年１１月３日（祝）午前１０時から午後２時まで

会 場 スポニックパーカー宮グラウンド（いちのみやふるさとまつり会場）

販売品目 宮城県の海産物と石巻市産のさんまとホタテ（焼いて販売する）

7. 経費等

①石巻市社協職員の派遣費用については、本会が負担する。

②物産展の品物やさんま等は、石巻市社協と連携し、買い取り方式として本会が負担する。

8. その他

①被災地社協報告会は、本会の広報紙、ホームページ、しーたん通信で広く市民に呼びかけ、一人でも多くの参加者を募ることとする。

②物産展についても①と同様の方法で呼びかけ、多くの市民参加で盛り上げる。

③いちのみやふるさとまつり会場では、石巻市社協職員と一緒に販売し、合わせてステージでのあいさつを依頼し、あらためて被災地の復興支援を呼びかける機会をつくる。